



きぼうのいずみ

蘇原第二小学校
学校だより
第9号
令和3年12月23日

蘇二小をよりよくするために「自信をもって発信したい」

校長 奥村 美樹恵

蘇二小には、子供たちが「蘇二小の宝物だ」と自負するものが3つあります。それは『あいさつ、掃除、合唱』です。

- M(目を見て)E(笑顔で)S(先駆け)あいさつする姿
 - 10秒スタートで気持ちを落ち着かせ目標を決め、私語ゼロですみずみまで掃除する姿
 - まとまりのある美しい歌声 ※去年、今年は歌えていませんが…
- これらが蘇二小の自慢できる3つの姿だと子供たちから聞いています。

先日6-1の班長、原 京佑さん、松野心紀さん、黒木飛鳥さん、内木裕大さん、東 湊太さん、大塚咲良さん、長縄ことりさん、高田凱都さんが校長室に来て、次のような話をしてくれました。

- ・6-1では、今月の蘇二っ子目標が「まごころそうじをしよう!」だったので、「目的をもってすみずみまで」を学級の目標にして、真剣に「掃除」に取り組んできた。
- ・「掃除」は蘇二小の宝物の一つ。しかし、最近掃除の仕方が話題になる。確かに課題がある。だからこそ、宝物である「掃除」に取り組む6-1の姿を全校に発信したい。
- ・私たちの掃除の姿を見てほしい!自信を持って発信したい!

大変力強い話でした。6-1の班長さんたちから見て、掃除時間に話し声が聞こえたり、掃除道具で遊んだり、走り回ったり…、これでは「蘇二小の宝物」とは言えないのではないかと蘇二小の実態から、「じゃあ、自分たちはどうなのか。自分たちがまずやってみよう!」と学級あげて取り組んだ結果、このようなことを提案してくれました。

実際に見に行くと…ほうきの向きもしっかりと考えて使い、床を見て細かなゴミも掃ききり、後ろの雑巾担当の子がしっかりと拭き取っていました。また教室の隅や角を小さく折りたたんだ雑巾で、ぎゅっぎゅっところりながら汚れを取っていました。トイレ掃除では、ペーパータオルを小さく折り、しゃがみ込んで便器を丁寧に拭き取り、ペーパータオルを裏返ししながら何度も何度も拭いていました。(もちろん、手袋は着用しています)どの掃除場所の子供たちも、夢中になって掃除をしていました。まさに、「掃除」における目指す姿が見られました。

6-1の子供たちは「宝物の掃除をこれからもずっと引き継いでいってほしい。そこで自分たちができること」として、この「発信」を考えました。蘇二小のためにできること…。6-1の子供たちの「心」も、全校児童に引き継いでもらいたいものです。

▼ 6-1の掃除の様子

